


文・編集・発行 / 齊藤新緑 Tel (0776-82-1141) Fax (0776-82-2261)

【齊藤新緑事務所】〒913-0001 福井県坂井市三国町池上103-36

【e-mail】sinryoku@aurora.ocn.ne.jp

【ホームページ】http://www.ss.apdw.jp

ほっとらいん

人に、まちに、いま、
元気の種をまこう。

VOL. 92

「未来の年表」人口減少カレンダー

	年	記述すること
5年以内	2017	「65歳～74歳」人口が減り始める
	2018	75歳以上人口が「65歳～74歳」人口を上回る
	2018	18歳人口が大きく減り始める。やがて国立大学も倒産の懸念
	2019	世帯数が5307万とピークを迎える
	2019	IT（情報技術）を担う人材がピークを迎え、人手不足が顕在化し始める
	2020	女性の過半数が50歳以上となり、出産可能な女性数が大きく減り始める
	2021	団塊ジュニア世代が50代に突入し、介護離職が増え始める
10年以内	2022	団塊世代が75歳に突入し、「ひとり暮らし社会」が本格化し始める
	2023	団塊ジュニア世代が50代となり、企業の人件費はピークを迎える
	2024	65歳以上の人口は約3670万人に達し、国民の3人に1人が「高齢者」となる
	2024	団塊世代がすべて75歳以上となり、社会保障費が大きく膨らみ始める
	2025	東京都の人口が1398万人とピークを迎える
	2026	高齢者の5人に1人が認知症患者（約730万人）となる
20年以内	2027	献血必要量が不足し、手術や治療への影響が懸念されるようになる
	2030	団塊世代の高齢化で、東京郊外にもゴーストタウンが広がる
	2030	ITを担う人材が最大79万人不足し、社会基盤に混乱が生じる
	2033	空き家が2167万戸を数え、3戸に1戸は人が住まなくなる
	2033	老朽化したインフラの維持管理・更新費用が最大5兆5000億円程に膨らむ
	2035	男性の3人に1人、女性は5人に1人が生涯未婚という「未婚大国」になる
	2039	死亡者数が167万9000人とピークを迎え、火葬場不足が深刻化する
30年以内	2040	全国の自治体の半数近くが「消滅」の危機に晒される
	2040	団塊ジュニア世代がすべて65歳以上となり、大量退職で後継者不足が深刻化する
	2042	高齢者数が3935万2000人とピークを迎える
	2045	東京都民の3人に1人が高齢者となる
40年以内	2050	世界人口が97億3000万人となり、日本も世界的な食糧争奪戦に巻き込まれる
	2050	現在の居住地域の約20%が「誰も住まない土地」となる
	2050	団塊ジュニア世代がすべて75歳以上となり、社会保障制度の破綻懸念が強まる
	2053	総人口が9924万人となり、1個人を割り込む
	2054	75歳以上人口が2449万人でピークを迎える
	2055	4人に1人が75歳以上となる
	2056	生産年齢人口が4983万6000人となり、5000万人を割り込む
100年以内	2059	5人に1人が80歳以上となる
	2065	総人口が8807万7000人で、2.5人に1人が高齢者となる
	2076	年間出生数が50万人を割り込む
	2115	総人口が5055万5000人まで減る

人口減少カレンダー

恐竜博物館の収支 (H12~28 総額)

(歳出)

管理運営費等	81億円
人件費	24億円
本館建設費	143億円
その他整備費等	57億円
計	305億円

(歳入)

観覧料収入等	39億円
恐竜エキスポ収入	19億円
計	58億円

(差引収支) Δ 247億円

恐竜博物館の収支 (年間平均)

(歳出)

管理運営費等	4.8億円
人件費	1.4億円
減価償却費相当額 (本館建設費÷50年)	2.9億円
計	9.1億円

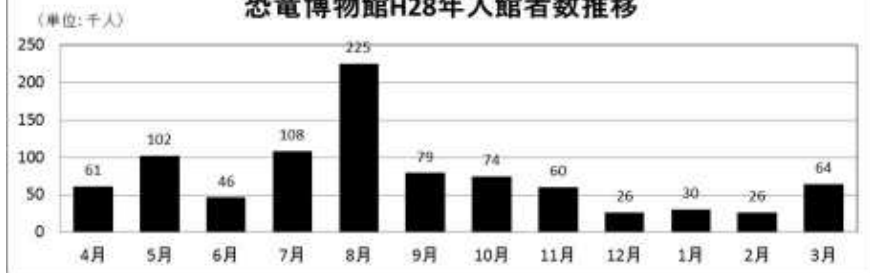
(歳入)

観覧料収入等	2.3億円
--------	-------

(差引収支) Δ 6.8億円

※年間平均の算出からは、野外博物館整備費、恐竜エキスポ経費、大型化石購入費を除いている。

恐竜博物館H28年入館者数推移



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
61,238	101,543	48,309	108,045	225,138	79,528	74,385	59,928	26,180	30,244	26,412	64,515	921,159

恐竜博物館を検証する

▼厳しい総括なくして正しい方針は導かれない。正しい情勢分析なくして正しい方針は生まれない。

1 恐竜博物館の総括

「恐竜王国福井」の名の下に、重点投資して、恐竜で福井をアピールし、観光客誘客をはかり、現在90万人余の観光

客が入館するまでになりました。そこで、レストランなど手狭になったため、アミューズメント施設を併設する第二恐竜博物館を90億円投じて建設するというのですが、まず、現状について検証してみます。

①年間月別入館者数 まず、上のグラフを見てもらえばわかるように、8月の夏休みに来館者が集中しています。

②収支

その上左は、恐竜博物館建設から今日までの歳出歳入合計を見たものですが、初期投資建設費143億円に162億円が加わり、歳出合計は305億円、これに対し歳入合計はわずか58億円、差し引き247億円の赤字となっています。

上右は、年平均で収支を見たものですが、減価償却費を含めなくて約4億円、含めると毎年7億円余りの赤字経営です。

③観光消費額

次ページの右側は昨年度の博物館内収入(実質観光消費額)と統計上で計算される観光消費額、下段は開館以来の通算を見たものです。観光統計上の数字と実質消費額とは、単年度で8倍、金額にして78億円の差があります。通算で見ると、10倍、665億円の差が生じます。

観光統計は、恐竜博物館(観光地)にきた人が県内でいくらか消費するということ、観光地ごとの消費額は求めていません。

平均単価を求め、人数に掛け算するものですから、観光客が増えれば、必然増えることになっています。果たして、恐竜博物館にきた人が、県内で8倍から10倍の消費をするのか、どうも実態とは乖離があるように思えます。それを明確に示すのが勝山市です。福井県内の市町で、唯一、毎年の観光消費額を聞き取り調査をしている市です。

④観光地の地元消費額

次ページ下段は、勝山市調査の観光消費額です。恐竜博物館の建設前の平成11年と平

成27年度を比較してみると、恐竜博物館ができて、観光客数は4割増加したものの、観光消費額は開館前より10%減となっていて、開館前の観光消費額を上回ったのはオープンした年だけとなっています。90万人もの観光客が来て、宿泊観光客が66%も増えているにも関わらず、観光消費額が1割減っているということは、一体、地域にどれだけ経済効果をもたらしているのでしょうか。

また、勝山市の人口は、開館前より減少率15.6%となっています。県全体では5%の人口減少率ですから、勝山市は極端に人口減少が進んでいるといえます。

この結果、恐竜博物館が出来て観光客は増えたけれども特に地元利益をもちたしていないように思えます。従って、恐竜博物館を総括すると、県としては、投資額を回収するところか、累積赤字を増大しているということであり、地元勝山市にもその効果は表れていないと見ることが出来ます。

次に、私たちを取り巻く情勢についてみていきます。

2 人口が減少する情勢

私たちを取り巻く諸情勢は、国内外様々ありますが、1

平成 28 年度観光消費額

歳入	観覧料・常設展・特別展	395,000千円
	施設使用料・事業収入等	67,000千円
	ショップ	465,000千円
	レストラン	108,000千円
実質観光消費額		1,038,000千円
観光消費額		8,800,000千円

平成 11 年度から平成 28 年度の観光消費額総計

歳入	観覧料・常設展・特別展	3,151,000千円
	施設使用料・事業収入等	764,000千円
	ショップ	2,776,000千円
	レストラン	672,000千円
実質観光消費額		7,363,000千円
観光消費額		73,800,000千円

勝山市 人口・観光動向調査

		恐竜博物館							
		開館前年	開館	開館後					
		H11	H12	H13	H21	H25	H27	H27-H11の比較	
勝山市	人口(人)	28,610	28,143	27,978	25,720	24,525	24,144	▲4,466	84.4%
	観光入込数(人)延べ人数	1,447,100	2,105,300	1,491,400	1,453,500	1,701,990	2,032,804	585,704	140.5%
	日帰り	1,398,900	2,001,700	1,395,400	1,380,200	1,627,483	1,952,609	553,709	139.6%
	宿泊	48,200	103,600	96,000	73,300	74,507	80,195	31,995	166.4%
	観光消費額(千円)	3,049,508	7,952,416	3,024,616	2,151,776	2,300,902	2,767,341	▲282,167	90.7%

ページの「人口減少カレンダー」のように、今後100年の間にジェットコースターの頂上から一気に駆け下りるスピードで人口が半減以下となる時代が始まっています。未来を予測し、対応するところが急務ですが、何より頭の切り替えが必要です。誰も経験した事のない縮小する時代が到来したのですから。

若者より高齢者の割合が多くなる少子高齢化の年齢構成が加速的に進みます。今後5年以内には、18歳人口が大きく減少し、やがて国立大学の経営が立ち行かなくなる予測されます。10年以内には65歳以上が3人に1人、高齢者の5人に1人が認知症といった社会が予測されています。社会保障費が膨張するだけでなく、医療機関、介護機関も不足します。非正規社員が増え、将来は無年金、低年金の貧しく身寄りのない高齢者が街に溢れ、生活保護受給者が激増して国家財政がパンクするのではなにかと心配されます。それを少ない若者が支えることになりません。

人口が減少し、高齢者が増え、若者が減ると自治体はどうなるのでしょうか、その極端な例として、財政破綻した

北海道夕張市を見てみます。北海道夕張市はなぜ財政破綻したのか。国のエネルギー政策の転換によって、市を支えてきた炭鉱が相次いで閉山し、人口が極端に減少し、にぎやかな街が消えていきました。そこで、夕張市は、炭鉱がダメなら観光で町おこしをめざし、「炭鉱から観光へ」のスローガンを掲げ、市は次々に第三セクターを設立し、「ゆーぱりロボット大科学館」、テーマパーク「石炭の歴史村」を作ったり、スキー場を買収したりと、観光振興に力を注いでいきました。

多くのマスコミも絶賛したのですが、しかし、どの事業も採算は赤字続きで、粉飾決算となつて倒産したのです。

●膨大な維持管理コスト
老朽化したインフラの維持管理コストは今後、どれだけ重くのしかかってくるのか。コストを試算した自治体の多くがこれまでの投資とは比べものにならない莫大な額に上ることを認識し始めている。結論ははっきりしています。現状の公共インフラをそのまま維持し続けるのは到底不可能だということです。人口増加に合わせて拡大し

▼第二恐竜博物館建設構想について
1 厳しい総括と正しい情勢分析
財政的に見れば現在の恐竜博物館の経営赤字であり、このままでは税金でそれを負担し続けることが、人口減少社会時代において重荷になる。90万人余の入館者数があるとはいえ、それを維持していくための投資が余儀なくされる。

2 自治体が経営すると失敗する。
バブル時を含め、第三セクターなどの失敗事例は全国津々浦々、累々とした屍、墓標が建っている。
①失敗した責任を負わない。自治体が経営すると失敗する理由は、失敗しても誰も責任をとらない。リスクをとる経営者がいないので、自ずと加減

夕張市では、全国に先駆けてこの「不都合な真実」に正面から向き合おうと動き出してきました。
「問題なのは人口が減って、残った住民の負担が大きくなるんでいくことなんです。不便になって負担だけが増える。」

④税金投入の優先順位。
90億円を何に使うのが良いか。今何を政策の優先順位にすべきかという検討が必要。将来のインフラの維持管理負担、今後必要となる新幹線、高速道路、人口減少時代への軟着陸対応など十分な検討が必要で、新たな箱モノ、赤字経営を余儀なくされるものをすべき時代ではない。

⑤民間に売却するなどこれ以上の出口の見えない赤字穴埋め体質を改めるべき。

③自治体経営が失敗して、責任を取るのは住民。
自治体の経営が失敗するとその穴埋めをするのに税金が投入され、結局、住民サービスに影響してくる。自治体経営者の失敗を住民が負担する。首長自らが株式会社社長のとして、連帯保証人をつけて銀行融資を受ける覚悟が必要。

②事業計画がない。
銀行で借金をする場合や県民が制度融資などを受ける場合は、必ず事業計画の提出が求められ、厳しい審査を受けるが、県は90億円もの建設予算が必要とするにもかかわらず事業計画がない。つまり、頭から採算を度外視している。

なものでない、コンサルタント任せにした安易な箱モノを建設することとなる。

たものになり、コンサルタント任せにした安易な箱モノを建設することとなる。

教育現場からの手紙

1

初めまして、私は県内で中学校教員をしているものです。

『ほつとらいん』拝読させていただきました。

高校入試への英検導入問題について、貴殿の活動報告に、県議会の皆様の活動は全くの正論であり、感銘を受けました。

やはり、福井新聞の情報ソースは、どこからかは存じませんが、実態を伝えきれていないと感じました。

高校入試への英検導入について現場は、本当に困惑しています。教員間でも、やはりこの制度には、無理がある、おかしい、他教科に説明がつかないとの声が圧倒的です。現状を知っていただきたくメールさせていただけます。

①英検講座について

一、福井新聞の講座写真の黒板や生徒の感想を聞いても、結局は、試験対策、合格テクニク的な内容になってしまっている。資格試験なので、どうしてもそうならざるを得ないと思います。

二、9月24日(日)福井新聞「中3生英検講座に真剣」に違和感

「県内中学生の約3割超の申し込みがあり」と新聞に記載されていますが、上から、参加者を「もつと増やすよう」言われ、再募集をかけた学校もあると聞いています。もはや、英語教育の話から、数字のメソッド争いになっていきます。

三、英検講座問題テキスト

当初、講座参加者が、会場に渡されると聞いていましたが、先日突然各中学校に全生徒分送付されました。とにかく、不公平感をださないために、必死なのだなど感じました。

また、テキストも製本された立派な冊子となっております。お金がかかっているなど感じました。また、県義務教育課の方々がかなりのご苦勞をされて作られたと聞きました。

しかし、外部の資格試験に、ここまで県民の血税が使われて良いのでしょうか？

四、10月6日(金)実施に不安

10月6日に県内一斉に実施予定は決まっていますが、試験開始時間や教室環境も各中学校で差があります。ある学校は、1・2年は、午前で授業を終わり、午後部活動、その間に3年生は、英検受験。

また、ある学校は、6限まで通常授業、放課後に実施など、条件面でまちまちで全受験者が平等な環境とは言えません。また、試験監督者も、経験のある英語科教員でさえ、入試に直接影響するということになり、緊張を強いられるのに、未経験の他教科の教員も動員して運営しなければなりません。

英検3級は、中学校卒業レベルとなつていきます。9月でまだ3年生の教科書はようやく半分を終えたところですので、10月初旬という試験日にも無理があります。また、全部を終えたいとしても、英検には教科書には無い単語や表現がでてきますので、高校入試の趣旨と外れています。

また、いわゆる普通科進学校以外を進路としている、全体の約6割の生徒にとつては、実力的にも厳しいのが現実ですし、元々英検受験の考えすらなかったというのが実情です。

それが無料だから、県が費用負担するからと、県内全生徒に受験させることに、何の意味があるのでしょうか。多額な税金がこれに使われていることに有権者が納得しているとは思えません。

9月26日(火)福井新聞で「中学校3年生の3級以上の受験者が昨年の5・4倍、5600人増」と伝えていますが、「受かりそうにないけど、先生が受けてもいいか。」と思っっている生徒も相当数いるのです。英検協会にとつてはかなり大きなビジネスでしょう。

従来どおり、「英検3級から、生徒の調査書に資格として記載できる。」とし、評価は各高校にまかせるのが良いと考えます。

以上、中学校現場の困惑を議会の皆様にくみ取っていただきますとありがたく存じます。

返信メール

メール有難うございます。すっかり受け止め、がんばります。

尚、福井県議会のHPで、9月定例会の予算決算特別委員会の録画面継があり、その最後に「齊藤新緑」があります。80分ありますが、最後の10分あたりが教育に関する質疑です。

ご視聴いただき、ご感想を賜れば幸いです。

また、このお便りを次回「ほつとらいん」に投書として掲載させていただきますと思いますので、よろしくお願ひします。(不都合な部分はないと思われまので)今後とも、何でもお知らせください。

福井県の公教育、子どもたちのために。

2

ご返信いただき恐縮しております。

福井県議会の9月定例会の予算決算特別委員会の録画面継、早速、視聴させて頂きました。

貴殿の見識の広さと深さ、そして地元に対する熱い想いを感じ大変嬉しい思いになりました。実は、恥ずかしながら、県

議会の一般質問や答弁を見るのは、初めてでした。福井県民として、知るべき、考えるべき案件が沢山あり、同僚の社会科教員にも勧めました！

さて、私どもとしては、10月6日英検が終了し、とりあえずほつとしております。英検は、今年度から、セキュリティ強化のため、スマートフォンにカメラアプリをダウンロードして、開封前の問題用紙や試験会場を試験開始直前に撮影し、短時間に送信しなければならぬ等、非常に煩雑になりました。このような重責を引き受けていただいた、他教科の先生方には本当に御礼申し上げます。ただ、個人所有のスマホを業務に使用することや、アプリを入れることについて不快感を持たれた方がいたのも事実で、もつともな事だと思われました。また、放課後の勤務時間外にも試験が行われた学校もあったことは、県教委の議会での説明と異なります。

10月7日(土)福井新聞 英検記事「県立高入試算で大幅増」について

日刊県民福井では、「受験料を補助」との記載がありました。福井新聞では、この点は触れられていませんでした。意図的でしょうか？また、「補助」という言葉も誤解を生みます。正確には、「県が全額負担」です。

「高校入試英検加算」の見直し案について

県教委は、英語の試験点数と加点の合計の上限を100点とし、100点を超える分は加算しないとするなどの変更理由を、「英検資格の有無にかかわらず満点が取れるようにした」と説明し、「英検の未取得者でも中学校で履修した内容だけで満点を目指すので、理解をいただけだと思う」と述べました。

しかし、県教委は、本気でそんな生徒がいると思っっているのでしょうか？ そんなはずがありません。こんな修正案を議会に提示すること自体が議会軽視だと思います。

入試の英語試験で、英検加点が無くても100点をとれる可能性があるような生徒は、最低でも英検3級以上の英語力がある生徒なのです。そして彼らは、実際には既に3級を取得しており、今回率先して上位級を受験していますので、最低でも5点以上を加点される資格を持って入試に臨むのです。

残念ながら、英検の未取得者で満点を「目指す」「目指せる」生徒に私はまだ出会っていません。

話すための英語力 島野映美子



県教委の理屈は、生徒の実態を把握しているならば、全く通らないものです。県教委は、「上の級を目指す生徒の努力を認め、励ましたい。」を繰り返して、英検導入の理由を「生徒のため」であるかのように正当化していますが、

がとれない教員をさらに追い込むものでどうか今回のみで廃止いただきますよう、県議会のお力添えをよろしくお願いたします。



の誰かが善意で数人を相手にやり始めたことが、現在まで

か？ そもそも、外部の試験の対策を、通常の授業でやっているのでしょうか？

を出すことは控えるべきだと思います。思っていたからです。

しかし、小学校からの英語教科化という問題に対しては、非常に抵抗がありました。

いままへんし、英米の価値観を植えつけられるのが精一杯です。やまと言葉は恋を語る優しい言葉です。日本語が壊れば、日本人も日本国も壊れます。

て敬意と感謝を申し上げます。さて、先日、NHK「ニュースで英会話」でおなじみの鳥飼久美子先生をお招きして、「公教育における英語教育」と題して、議員研修会を行いました。記憶に残る点をいくつかあげてみます。

県内の英語教員は皆「英語力の向上を目指す生徒の努力を認め、励ましたい。」思いで日々生徒と接しているのです。「馬の鼻先にニンジンをおぶら下げる」ようなやり方で、生徒を煽らないでほしい。

英検試験会場になっているからといって、一外部試験の対策を英語教員が勤務時間に行うというのは、やはりおかしいと言わざるを得ません。

二次試験への対応について、県からは、特に何の指示もありませんでしたので、各中学校でばらつきがあるのは、仕方ないことだと思います。しかし、

ALITなども表向きは本場のネイティブを聞かせるというところなのですが、実際は日米の貿易摩擦解消のための輸出品だったわけですね。すべて、政治的な問題なのです。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

今回の高校入試の件は、中学校で習わないものを高校入試に組み込み、加点するなどということが常識的には考えられないことなのに、県教委からは、校長会などでも特に異論がなかったということでしたが、

①民間業者試験である英検を高校入試に加点するとすれば、学校は英検受験講座になる。そんなことを良しとする英語教員がいたらお目にかかりたい。

10月下旬には、英検の二次試験結果が出て、11/4は二次試験が行われます。

10月27日英検の二次試験結果が各中学校に届きました。

英検二次面接(11月4日)に向けての対応

英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

ALITなども表向きは本場のネイティブを聞かせるというところなのですが、実際は日米の貿易摩擦解消のための輸出品だったわけですね。すべて、政治的な問題なのです。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

今回の高校入試の件は、中学校で習わないものを高校入試に組み込み、加点するなどということが常識的には考えられないことなのに、県教委からは、校長会などでも特に異論がなかったということでしたが、

②読み書きはできるけど話せないのが日本人などというのは昔の話。今は読みも出来なければ書きも話もできない。中高で何を教えているのか、基礎を学んでなくて大学の先生は困っている。

3 貴殿が議会で述べられた、「子どもを道具にしたらあかんで！」私も全く同じ思いです。

10月27日英検の二次試験結果が各中学校に届きました。

英検二次面接(11月4日)に向けての対応

英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

ALITなども表向きは本場のネイティブを聞かせるというところなのですが、実際は日米の貿易摩擦解消のための輸出品だったわけですね。すべて、政治的な問題なのです。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

今回の高校入試の件は、中学校で習わないものを高校入試に組み込み、加点するなどということが常識的には考えられないことなのに、県教委からは、校長会などでも特に異論がなかったということでしたが、

③コミュニケーション能力は、比較的時間のある大学で、興味を持って本気でやらなければ、受験対策などで身につかない。ネイティブは国際共通英語ではない。

10月27日英検の二次試験結果が各中学校に届きました。

英検二次面接(11月4日)に向けての対応

英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

ALITなども表向きは本場のネイティブを聞かせるというところなのですが、実際は日米の貿易摩擦解消のための輸出品だったわけですね。すべて、政治的な問題なのです。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

今回の高校入試の件は、中学校で習わないものを高校入試に組み込み、加点するなどということが常識的には考えられないことなのに、県教委からは、校長会などでも特に異論がなかったということでしたが、

③コミュニケーション能力は、比較的時間のある大学で、興味を持って本気でやらなければ、受験対策などで身につかない。ネイティブは国際共通英語ではない。

10月27日英検の二次試験結果が各中学校に届きました。

英検二次面接(11月4日)に向けての対応

英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

ALITなども表向きは本場のネイティブを聞かせるというところなのですが、実際は日米の貿易摩擦解消のための輸出品だったわけですね。すべて、政治的な問題なのです。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

今回の高校入試の件は、中学校で習わないものを高校入試に組み込み、加点するなどということが常識的には考えられないことなのに、県教委からは、校長会などでも特に異論がなかったということでしたが、

③コミュニケーション能力は、比較的時間のある大学で、興味を持って本気でやらなければ、受験対策などで身につかない。ネイティブは国際共通英語ではない。

10月27日英検の二次試験結果が各中学校に届きました。

英検二次面接(11月4日)に向けての対応

英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

ALITなども表向きは本場のネイティブを聞かせるというところなのですが、実際は日米の貿易摩擦解消のための輸出品だったわけですね。すべて、政治的な問題なのです。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

今回の高校入試の件は、中学校で習わないものを高校入試に組み込み、加点するなどということが常識的には考えられないことなのに、県教委からは、校長会などでも特に異論がなかったということでしたが、

③コミュニケーション能力は、比較的時間のある大学で、興味を持って本気でやらなければ、受験対策などで身につかない。ネイティブは国際共通英語ではない。

10月27日英検の二次試験結果が各中学校に届きました。

英検二次面接(11月4日)に向けての対応

英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

ALITなども表向きは本場のネイティブを聞かせるというところなのですが、実際は日米の貿易摩擦解消のための輸出品だったわけですね。すべて、政治的な問題なのです。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

今回の高校入試の件は、中学校で習わないものを高校入試に組み込み、加点するなどということが常識的には考えられないことなのに、県教委からは、校長会などでも特に異論がなかったということでしたが、

③コミュニケーション能力は、比較的時間のある大学で、興味を持って本気でやらなければ、受験対策などで身につかない。ネイティブは国際共通英語ではない。

10月27日英検の二次試験結果が各中学校に届きました。

英検二次面接(11月4日)に向けての対応

英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

ALITなども表向きは本場のネイティブを聞かせるというところなのですが、実際は日米の貿易摩擦解消のための輸出品だったわけですね。すべて、政治的な問題なのです。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

今回の高校入試の件は、中学校で習わないものを高校入試に組み込み、加点するなどということが常識的には考えられないことなのに、県教委からは、校長会などでも特に異論がなかったということでしたが、

③コミュニケーション能力は、比較的時間のある大学で、興味を持って本気でやらなければ、受験対策などで身につかない。ネイティブは国際共通英語ではない。

10月27日英検の二次試験結果が各中学校に届きました。

英検二次面接(11月4日)に向けての対応

英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

ALITなども表向きは本場のネイティブを聞かせるというところなのですが、実際は日米の貿易摩擦解消のための輸出品だったわけですね。すべて、政治的な問題なのです。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

明治時代に日本語をやめて英語を公用語にしようという動きがありました。

今回の高校入試の件は、中学校で習わないものを高校入試に組み込み、加点するなどということが常識的には考えられないことなのに、県教委からは、校長会などでも特に異論がなかったということでしたが、

③コミュニケーション能力は、比較的時間のある大学で、興味を持って本気でやらなければ、受験対策などで身につかない。ネイティブは国際共通英語ではない。



島飼久美子

問題点1 外部試験の勉強や練習は教員の仕事なのか？

問題点2 学校によってバラバラな二次面接への対応

問題点3 英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

問題点4 ALITなどの英語の授業時間

問題点5 英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。



島飼久美子

問題点6 英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。



島飼久美子

問題点7 英検二次面接は、英検の合格者が過去最高の〇〇人！と発表し、制度導入の成果を強調することでしょう。

孫への手紙 (11)

本といっしょお友だち

元気でいますか、新しい家の住み心地はどうですか？綾咲ちゃんも仲良くしていますか？保育園は慣れましたか？

「ご飯食べて、寝て、起きたら、また保育園に行かなあかんの？」と言った話を聞いて、ジイはジーンとしてしまいました。

それでも、先日は、「ジイ遊んで」と言って、久々に元気な顔を見せてくれたので、嬉しかったです。

庭にブランコとスベリ台も出来ましたから、また一緒に遊びましょう。12月には、ジイのお友だちが、いちご狩りを始め、いちごのケーキも食べられるようになるようなので、楽しみに待っていてください。

▼さて、今の季節は秋です。

夏は暑く、冬は寒い。その間にあるのが春と秋です。

最近では、冷房とか暖房があるので、昔から比べ



れば随分過ごしやすくなりま

したが、昔の人は夏の暑さと冬の寒さに耐えられなくて、冬の間から春が来るのを待ち望み、夏の間から秋が来るのを待っていました。

だから、過ごしやすい春とか秋が好まれてきました。それでも、春が良いか、秋が良いかと春の好きな人と秋の好きな人が言い争ったので、「春秋の争い」という言葉まであります。

昔の人は、随分ヒマだったように思いますが、生活が季節の移ろいと密着していました。それで、春と秋の争いほどどちらが勝ったのかというところの歌があります。

「春はただ花のひとえに咲くばかり、ものあわれは秋ぞま次のようなものがあります。

される」。

だから、秋が勝ったのだと思えます。「ものあわれ」などといっても、わからないでしょうが、樹木の葉っぱが、赤くなったり、黄色くなったりして、そのうち葉っぱが落ちていきま

す。だから、なんだか寂しい気分になります。なぜ、寂しいのが好きなのか、不思議に思うかも知れません

しませんが、それは、大人にならないとわからないことかもしれません。命ある者は必ず死なねばなりません。自然界の掟、決まりごとです。葉っぱが散ることが、自分の命が散ることにも見えてくるのでしよう。良寛さんの歌に

散る桜残る桜も散る桜裏を見せ表を見せて散るもみじ

花は咲いたときから、散る



のが定め、動物も生まれた時から死ぬのが定め。それを知っているのは人間だけです。命には限りがありますから、大事にして、自分の生き方、花を咲かせることです。

▼読書の秋
今日は、本をお友だちにする

本は、いろいろな人がいろいろなことについて書いています。だから、本を読むといろんな人に出会い、いろいろなことを知ります。保育園のお友だちもでき

たでしょうが、それはいつも会っている身近な人たちです。しかし、本は、世界中で書かれたものやもうこの世にはいない大昔の人が書いたものなど何でも読めます。

テレビも面白いですが、面白いのは見ている時間だけで、見終わったあとに何が残っているのかというと、単に時間をつぶしてただけということがほとんどです。

テレビを見てみると気がつくと、大きなお金が必要となりま

す。それでも、テレビで宣伝すると商品が売れるので、お金を出すだけの効果があるので、ということとは、見ている人に大きな影響を与えていると

と云えます。テレビは、大きなお金が必要となりま

くと思いがすが、テレビには必ずコマーシャルが入ります。テレビ局は、あの宣伝・広告費で、番組をつくり放映しています。

テレビで宣伝・広告を出すには、大きなお金が必要となりま

す。それでも、テレビで宣伝すると商品が売れるので、お金を出すだけの効果があるので、ということとは、見ている人に大きな影響を与えていると

云えます。テレビは、大きなお金が必要となりま

す。それでも、テレビで宣伝すると商品が売れるので、お金を出すだけの効果があるので、ということとは、見ている人に大きな影響を与えていると

云えます。テレビは、大きなお金が必要となりま

す。それでも、テレビで宣伝すると商品が売れるので、お金を出すだけの効果があるので、ということとは、見ている人に大きな影響を与えていると

云えます。テレビは、大きなお金が必要となりま



を作っているのか注意が必要

でも、テレビを見ているときの顔を

本を読むことを覚えると、テレビなんかよりずっと面白

くなります。花の名前や動物や魚、鳥の名前を覚えたり、雲や雨にも名前があることを知ります。

花はいつ咲くのか、なぜ、お月様の形は変わっていくのか、なぜ勉強するのか、そんなことを教えてくれます。

本に書かれた面白いお話や悲しいお話を読んでみると自分と同じ思いの人や変わった人にも出会えます。いろいろな考えがあることもわかります。

▼本は心の栄養です。体は、ご飯を食べて栄養をとって、大きく強くなりますが、心はご飯を食べません。

心にも植物と同じように、水をやったり、肥料を与えないと小さいままです。多くの本を読むと心が育ちます。



本をお友だちにする、大昔の人から世界中の人までお友だちが広がります。面白い本ならジイがいっぱい持っていますから、本を読み遊びに来てください。

読書の秋 61冊



用意

石垣りん

それは凋落しやうらくであろうか

百千の樹木がいつせいに満身の葉を振り落すあのさかんな行為

太陽は澄んだ瞳を

身も焦がさんばかりに灑まぎ

風は枝にすがってその衣をはげと哭なく

そのとき、りんごは枝もたわわにみのり

ぶどうの汁は、つづらな実もしたたるばかりの甘さに重くなるのだ

秋

ゆたかなるこの秋

誰が何を惜しみ、何を悲しむのか

私は私の持つ一切をなげうって

大空に手をのべる

これが私の意志、これが私の願いのすべて！

▼この秋は雨か嵐か知らねども今日の勤めの田草取るなり(二宮尊徳)

初めてコンバインが登場して、稲刈りを終えた後、「死んだ父ちゃんにいつペンこんな楽させてやりたかった」と母親がつぶやいたのを思い出す。

学校から帰ると、替えズボンの上に「おばばがハサ場で待っている」と書かれた紙があり、10円玉が乗っている。おばばが、鞍掛くらかけの上で稲をハサ掛けする。下で私が稲を差し出す。トラックで稲を運んできた母親がその様子を見て言った言葉が「絵になるなあ」。

それでも、台風が来るとなれば、雨合羽に懐中電灯をもって、大雨の夜にハサが倒壊しないように、稲を下ろしにいったことも思い出す。

▼「昔の人はえらかった」と言う言葉も母親がよく口にしていた言葉だ。

晴れた日は田畑にでかけ、草むしり、雨の降る日は雨合羽に蓑笠つけて家の周りの草むしり、冬はわらを編んだり、旅館の浴衣を縫って、一年中働きずくめだった母親をして、「昔の人



はえらかった」というなら、どれだけのことをして生活を支えて来たのか。

ひ孫を連れてブランコに遊びに来る老婆を見ていたら、ブランコの下に生えている草をむしっていた。体に染み付いている習性ともいえるのだろうか、草をはやししておくことを怠け者、恥とする勤労が美徳の時代の教育、躰たが、かつての日本にはあった。

人の悪口も含め口は良く動いたが、手も休めることはなく早かったおばさんたち。手の早いあの時代の人がいなくなつて、らっきょうの根を切る人手がいなくて、海外に依頼せざるをえなくなったと聞く。農村を支えた貴重な人材、女衆がいなくなつて、雨合羽に蓑笠姿も消えた。

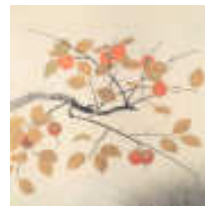
▼秋深き隣は何をする人ぞ

わが家の新婚夫婦。

誰もいないであろう食卓に、つこうとすれば壁席に二人が寄り添っている。テレビがつけっぱなしで誰もいないので消そうとすれば後ろのソファに二人が毛布に包まれている。深夜に帰宅すれば、家

の中をおんぶして歩く。昔は若夫婦が仲睦まじくいると姑さん

新緑の気ままにトク



外は大荒れ、七人の敵がいようがいまいが、長い憂き世に短い命、人の毀誉褒貶ほうへん憂きに足らず。

心の中は降つて良し、晴れて良し。

日は好日こうじつという禅語があるが、何か、心の中に仏さんでも住み着いたような、ほのぼのとしたものがあるのも老境に入つてのものだと思つと年を取るのも悪くない。

とはいえ、政治だけは別腹。私の秋をぶち壊したのが突然の解散総選挙。

何のための選挙だったのか、選挙に勝つために自己都合で解散する総理大臣など論外だ。メディアも悪い。どこが勝つのか、プロ野球日本シリーズか、競馬の予想じゃあるまいに、○か×か、敵か見方か、改革か守旧か、保守対リベラなど日本の政治課題を掘り下げもせず、劇場型を演出し、スポンサーに迎合し、世論操作、大衆操作を繰り返す。

遠視の乱視の老眼、老いることは辛いことである。が、一方では、三人娘も片付いたせいか、心が軽い。隠居気分でもいえるのだろうか。

産党の方がよほど保守ではないか。

リベラルとは、かつての自民党主流派のハト派、代表的人物は石橋湛山いしはしあきら、大平正芳元総理など。保守とリベラルは対立構図ではない。

このまま行くとマジで放射能汚染、財政破綻、戦争へと仕掛けられ、日本民族は滅んでしまふのではないか、そのための準備が着々と進んでいるように見える。

▼俺が昔手袋だった頃、弟は胃袋だった。父さんは紙袋で、母さんは池袋だった。

俺が昔夕焼けだった頃、弟は小やけどだった。お父さんが胸やけど、お母さんは霜やけどだった。わかるかな？ わかんねえだろうな？

▼「秋の夕暮の空の景色は、色もなく、声もなし。いづくにいかなる趣あるべしと思えねど、すずるに涙のこぼるるがごとし。これを、心なき者は、さらにいみじと思はず、ただ眼に見ゆる花・紅葉をぞめではべる。」鴨長明